

●房州団扇

○竹藪PAN

67 温暖な気候の南房総では、昔から節の長い良質の女竹めだけがとれました。

○竹藪PD

68 その竹を使って伝統工芸品の房州団扇がつくられています。

○房州団扇ZB

69 房州団扇は、京団扇、丸亀団扇と並ぶ日本三大団扇の一つ。素材の女竹をそのまま使った丸い柄が特徴です。

○団扇2つ

70 現在は、主に贈答用やインテリアとしてつくられています。

○竹の伐採

71 伐採しているのは、房州団扇の職人、宇山正男うやま しょうおさんです。伐採は、主に1月に行われます。寒い時期の竹には虫がつかず、

○竹を切る

身がしまっているからです。

○割竹ロング

宇山「竹を選んで切って、それを割いて、割くのが一番肝心なんですよ。割きが悪いと骨の三角になってるトイが、どうしても骨が張って飛び出しちゃうでしょ、だから、どうしても自分で割いで仕上げて出来上がっ

○アップ

○編竹

た時には、気に入らんと、気に入つたのがありますよ」

72 まず、竹を割き、柄の部分に穴をあけ、糸で骨を編んでいきます。

○弓削
○窓作り

73 さらに、柄に空けた穴に弓を差し込み、編み終えた糸の両端を弓に結びます。

○貼り
○断裁

74 整った骨に、紙や布を貼りはみ出した骨を切り落します。

○宇山さんインタビュー

宇山「やっぱり竹にも癖があるし、人間と同じですからね、癖がありますから、それをあやつりながらつくるんですからね、本当に気に入ったというのは何本もないですよ」

○後継者に教える

75 宇山さんは、団扇づくりの傍ら、その伝統技術を伝える。後継者の育成にも力を入れています。